

平成20年度第3回常務理事会（通信会議）議事録

日 時：平成20年7月18日（金）～8月8日（金）

参加者：

理事長：吉村 泰典

副理事長：岡村 州博、落合 和徳

理 事：岩下 光利、岡井 崇、嘉村 敏治、田中 俊誠、平松 祐司、星 和彦、吉川 裕之、
和氣 徳夫

監 事：柏村 正道、佐藤 章、丸尾 猛

幹事長：矢野 哲

幹 事：新井 隆成、内田 聡子、梶山 広明、北澤 正文、濱田 洋実、阪埜 浩司、平田 修司、
堀 大蔵、増山 寿、村上 節、渡部 洋

総会議長：松岡幸一郎

総会副議長：足高 善彦、清水 幸子

資 料

第3回常務理事会通信会議内容

協議1：第2回常務理事会議事録（案）

協議2：公衆衛生関連学協会連絡協議会（仮称）の設立総会について（ご案内）及び本会回答案

協議3：2008年7月 日本産科婦人科学会 産婦人科動向意識調査集計結果報告

協議4：医療安全調査委員会設置法案（仮称）大綱案に対する意見

総務1-1：医療事故に関わる諸問題検討ワーキンググループ書状

総務1-2：日本臨床整形外科学会『医療安全調査委員会設置法案』大綱案について

総務2：各地方部会長宛代議員選出に関わる書状

総務3：仙谷由人事務所からの書状

総務4：キッセイ薬品工業㈱「エストラダーム貼付0.72mgの販売中止について」

総務5：厚労省「妊娠の届出状況に係る調査結果及び早期の妊娠届出の勧奨等について」

総務6：厚労省「産科医療補償制度の普及・啓発に関する協力依頼について」

総務7：日本産婦人科医会「産科医療補償制度原因分析の実務運用に関する報告書の送付について」

総務8：日本医学会「診療関連死の死因究明制度創設に係る公開討論会」案内状

総務9：日本医学会「日本医師会年金の普及推進に関するご協力のお願について」

総務10：日本医療機能評価機構「産科医療補償制度運営委員会の委員委嘱について（依頼）」

総務11：日本医療機能評価機構「病院機能評価事業 統合版評価項目V6.0（案）の送付について（ご依頼）」

総務12：患者の権利オンブズマン「送付状」

渉外1：駐日英国大使「福田総理夫人とブラウン英首相夫人をかこむアフタヌーンティーパーティーへのご招待状」

倫理1：JISART「精子・卵子の提供による非配偶者間体外受精に関するJISARTガイドライン」

教育1：日本医学会「用語改正に関する検討のお願い（回答）」

教育2：2008年ICD各項目対応意見照会リスト（案）

広報1：JSOG-JOBNET事業報告

広報2：m3.com医療維新「給与から勤務条件まで、学会が求人情報を提供」

広報3：ACOG Website 会員専用ページログイン可能人数について

広報4：JSOG ホームページアクセス状況

将来計画1：会員からの産婦人科診療ガイドラインに関する書状

男女共同参画1：地方部会担当公開講座一覧

その他1：6月27日付日経新聞「女性がん対策遅れる日本」

その他2：6月27日付朝日新聞「飛び込み出産に募る懸念」

吉村理事長から平成20年7月16日付各役員、議長団、幹事長、幹事、委員長宛書面にて、平成20年度第3回常務理事会を7月18日から8月1日迄を期間として、通信にて行う旨の案内状と通信会議次第（報告事項、協議事項）及び関連資料が送付された。（その後協議事項が追加されたため、期間を8月8日まで延長した。）予定通り7月18日に通信会議が開始され、理事長、副理事長、常務理事の総数10名（星合常務理事欠席）が参加した。吉村理事長が議長となり、議事録署名人として、理事長及び副理事長の計3名が選任された。

I. 協議事項

協議1：平成20年度第2回常務理事会議事録（案）の確認 [資料：協議1]

原案通り、承認した。

協議2：日本学術会議パブリックヘルス科学分科会より公衆衛生関連学協会連絡協議会（仮称）の設立総会について案内及びアンケートを受領した。現時点では法人格や会員の責任範囲が不明であるため、資料に示す回答案と致したい。[資料：協議2]

特に異議なく、承認した。

協議3：第1回理事会で国際渉外委員会の設置が承認されているが、委員構成を以下の通りと致したい。

委員長：嘉村敏治 委員：落合和徳、青木大輔、木村 正、斉藤正和 幹事：鈴木 淳

特に異議なく、承認した。

協議4：産婦人科医療提供体制検討委員会より産婦人科動向意識調査の集計結果報告を受領した。同報告のP1～P3を本会ホームページの一般ページに、同報告の全文（P1～P19）を会員専用ページに掲載したい。[資料：協議3]

平松理事より「会員専用ページへの掲載は可と思うが、一般ページへの掲載は控えるべきである」との意見が示された。

吉村理事長より「会員専用ページに全文を掲載し、一般ページには要約を掲載する」との判断が示された。

協議5：医療事故に関わる諸問題検討ワーキンググループとして医療安全調査委員会設置法案（仮称の原案となる大綱案について意見を取り纏めたので、本会の意見として厚生労働省に提出したい。なお、同意見書は日本医学会主催「診療関連死の死因究明制度創設に係る公開討論会」（7月28日開催）に先立ち、日本医学会に提出（7月22日）しており、岡井委員長が同公開討論会において本会意見を陳述した。[資料：協議4]

特に異議なく、承認した。

II. 業務担当常務理事報告

1) 総務（落合和徳副理事長）

〔I. 本会関係〕

(1) 会員の動向

特になし

(2) 医療事故に関わる諸問題検討ワーキンググループ

①医療安全調査委員会設置法案（仮称）の大綱案について各委員に意見を聴取した。[資料：総務1-1]

②日本臨床整形外科学会より「医療安全調査委員会設置法案」大綱案についての意見書を受領した。

[資料：総務1-2]

(3) 第1回運営委員会(6月20日開催)での審議を踏まえ、各地方部会に代議員の選出規定につき見直しを依頼した。[資料：総務2]

(4) 民主党「がん治療の前進をめざす民主党議員懇談会」より7月2日開催の女性のがんに関する勉強会に講師派遣の依頼があり、吉川裕之理事が講演を行った。出席者は議員7名、議員秘書15名前後、患者会、メディア他であり、本会から阪埜浩司幹事、荒木信一事務局長が陪席した。[資料：総務3]

(5) キッセイ薬品工業株よりエストラダーム貼付0.72mgの販売を平成20年8月末をもって中止するとの連絡があった。[資料：総務4]

(6) 金原出版株より子宮体癌取扱い規約改訂第2版の残部が僅少となったため、500部増刷の許可申請があった。特に異存はないので、承諾いたしたい。

〔Ⅱ. 官庁関係〕

(1) 厚生労働省

①母子保健課より「妊娠の届出状況に係る調査結果及び早期の妊娠届出の勧奨等について」の通知を受領した。会員に周知方依頼があり、機関誌及びホームページに掲載したい。[資料：総務5]

②医政局総務課長より「産科医療補償制度の普及・啓発に関する協力依頼について」の通知を受領した。会員に本制度の趣旨を理解せしめ、多くの分娩機関の制度加入につき協力頂きたいとの依頼である。

[資料：総務6]

〔Ⅲ. 関連団体〕

(1) 日本産婦人科医会

①同医会より産科医療補償制度原因分析の実務運用に関する報告書を受領した(6月30日)。

[資料：総務7]

(2) 日本医学会

①日本医学会主催により診療関連死の死因究明制度創設に係る公開討論会が7月28日に開催される予定である。(場所：日本医師会館大講堂) [資料：総務8]

②日本医学会より「日本医師会年金の普及推進に関するご協力のお願について」の書状を受領した。会員に周知方依頼があり、機関誌及びホームページに掲載するとともに、日本医師会年金ホームページへリンクすることと致したい。[資料：総務9]

(3) 日本医療機能評価機構

①同機構より産科医療補償制度運営委員会の委員に岡井崇理事の就任方依頼があり応諾した。

[資料：総務10]

②病院機能評価事業 統合版評価項目V6.0(案)を受領した。本会の意見、提案がある場合は8月1日までに回答してほしいとのことである。[資料：総務11]

〔IV. その他〕

(1) 日本糖尿病・妊娠学会より「糖尿病の検出及び発症予防事業」(会期：通年実施)の後援名義使用許可についての依頼書を受領した(6月25日)。

名義使用期間は通年であるが、経済的負担がなく、後援を応諾したい。

(2) 国立成育医療センターより「妊娠と薬情報センター Japan Drug Information Institute in Pregnancy 開設3周年記念国際シンポジウム」(開催日：平成20年11月29日、会場：聖路加看護大学講堂)の後援名義使用許可についての依頼書を受領した(6月26日)。

経済的負担がなく、後援を応諾したい。

(3) 日本学術会議より公開講座「気をつけよう！若い女性のやせすぎ」(開催日：平成20年9月22日、会場：日本学術会議講堂)の後援名義使用許可についての依頼書を受領した(6月30日)。

経済的負担がなく、後援を応諾したい。

(4) 日本マタニティビクス協会より「マタニティ&ベビーフェスタ2009」(開催日：平成21年3月～5月、会場：福岡、仙台、東京)の後援名義使用許可についての依頼書を受領した(6月30日)。

経済的負担がなく、後援を応諾したい。

(5) 患者の権利オンブズマンより苦情調査報告書及びアニュアル・レポートを受領した(6月23日)。

[資料：総務12]

以上総務報告事項については、特に異議なく了承した。

2) 会 計 (岡村州博副理事長)

特になし

3) 学 術 (吉川裕之理事)

(1) 他団体特別賞推薦依頼について

①平成20年度日本医師会医学研究助成費

日本医師会に丸山哲夫会員の研究を推薦した(平成20年6月23日)。

②神澤医学賞

各理事、学術委員会委員に推薦を依頼した結果、候補者として関沢明彦会員の推薦を受けた。通信で選考を行う。

③朝日賞

各理事、学術委員会委員に推薦を依頼した(推薦締切：8月4日)。候補者が推薦された場合、通信で選考を行う予定である。

以上学術報告事項については、特に異議なく了承した。

4) 編 集 (岡井 崇理事)

(1) 会議開催

①7月25日に第1回 JOGR 全体編集会議を開催する予定である。

(2) 英文機関誌 (JOGR) 投稿状況：2008年投稿分(6月末現在)

投稿数387編(うちAccept 27編、Reject 171編、Withdrawn/Unsubmitted 27編、Under Revision 61編、Under Review 84編、Pending 17編)

以上編集報告事項については、特に異議なく了承した。

5) 渉外 (嘉村敏治理事)

[FIGO 関係]

(1) 7月5日駐日英国大使館にて福田総理夫人とブラウン英首相夫人を囲むアフタヌーンティーパーティーが開催され、FIGO 日本代表として丸尾猛監事が出席した。ブラウン夫人からはFIGO ならびにRCOG (英国産婦人科学会) と collaboration してアフリカでの母体死亡率低下に向け取り組んでいる内容の講演があった。

[資料：渉外1]

[AOFOG 関係]

(1) AOCOG2009 に向け、YGA と YSA にそれぞれ100万円と50万円を寄附した。

(2) Educational Fund 用口座 (台湾) に100万円を送金した。

(3) 6月27日スリランカにて開催のAOFOG2009 に本会代表として村田雄二名誉会員が出席した。

以上渉外報告事項については、特に異議なく了承した。

6) 社 保 (和氣徳夫理事)

(1) 会議開催

①第2回社保委員会を9月12日に開催する予定である。

(2) 日本医師会「薬理作用に基づく医薬品適応外使用の例」に関する調査について、メトロニダゾール (フラジール) の例を回答した。

(3) 外保連平成20年度改正要望項目アンケートについて、以下の項目を提出した。

<新規項目>

①(改正) 流産手術 2. 妊娠11週を超え妊娠21週まで：点数の見直し (増点)

②(改正) 妊娠子宮摘出術 (ポロー手術)：点数の見直し (増点)

<再提出>

①(改正) 子宮悪性腫瘍摘出術：点数の見直し (増点)

②(改正) 骨盤位娩出術：点数の見直し (増点)

③(改正) 子宮付属器悪性腫瘍摘出術：点数の見直し (増点)

④(新設) 傍大動脈リンパ節郭清術：標準術式

⑤(新設) 子宮腺筋症病巣除去術：妊孕性温存手術

⑥(新設) 仙骨子宮神経切断術：QOLの改善

⑦(新設) 造脛術6 腹腔鏡下骨盤腹膜利用による：低侵襲手術

⑧(新設) ユーテリンマニピレータ：必須

⑨(新設) リングペッサリー：QOLの改善

⑩(新設) ヒスキヤス：必須

(4) 切迫流産 (妊娠16週以降) 例・切迫早産 (妊娠35週未満) 例に対する超音波検査適応について、厚生労働省より問い合わせを受け、白須委員、橋口委員が厚労省と面談した(6月10日)。厚労省内部資料について調整中である。

(5) 「子宮頸癌に対する液状化処理細胞診 (LBC)」について、臨床細胞学会、病理学会、日本産科婦人科学会の共同要望提出に向け準備中である。

以上社保報告事項については、特に異議なく了承した。

7) 専門医制度 (星 和彦理事)

(1) 平成20年度専門医認定二次審査

東京会場(都市センター)と大阪会場(千里ライフサイエンスセンター)で、7月26日に筆記試験、27日に面接試験を実施する。

(2) 地方委員会宛に専門医認定一次審査結果通知書を送付した(6月25日)。

また、一次審査合格者に対し審査通知と二次審査受験票を、再申請者に対し二次審査受験票を送付した(6月25日)。

(3) 8月上旬に平成20年度研修手帳注文書を卒後研修指導責任医宛に送付する。

(4) 平成20年度認定二次審査筆記試験問題評価委員会

8月29日に認定二次審査筆記試験問題評価委員会を開催する予定である。

以上専門医制度報告事項については、特に異議なく了承した。

8) 倫理委員会 (星合 昊委員長)

(1) 本会の見解に基づく諸登録(平成20年6月30日)

- ①ヒト精子・卵子・受精卵を取り扱う研究に関する登録：52 研究
- ②体外受精・胚移植の臨床実施に関する登録：611 施設
- ③ヒト胚および卵子の凍結保存と移植に関する登録：611 施設
- ④顕微授精に関する登録：484 施設
- ⑤非配偶者間人工授精に関する登録：16 施設

(2) 着床前診断に関する臨床研究申請・認可について

申請件数：75 例[承認59 例、非承認4 例、審査対象外4 例、照会中1 例、審査中7 例]

(3) JISART より「精子・卵子の提供による非配偶者間体外受精に関する JISART ガイドライン」を受領した(7月15日)。 [資料：倫理1]

以上倫理委員会報告事項については、特に異議なく了承した。

9) 教育 (岩下光利理事)

(1) 日本医学会に対し「未分化胚細胞腫」に関わる用語改正に関する検討を依頼し、その回答を受領した。 [資料：教育1]

(2) ART に関する terminology の和訳に関する教育委員会での指摘事項を倫理委員会 登録・調査小委員会に送付した。

(3) 「産婦人科研修の必修知識2007」頒布状況について

7月15日現在、入金済3,302 冊、校費支払のため後払希望75 冊、購入依頼16 冊。

(4) 第2回産婦人科サマースクールについて

6月末締切後の参加希望者は189 名(医学部学生45 名、初期研修医144 名、男女内訳：男性47 名、女性

142名)となっている。運営支出の概算は839万円で寄付と参加費を含めた収入は843万円となる。

(5) Cadaver を用いた医療技術修練に関するアンケートを教育委員会委員に発送した(7月1日付、7月31日締切)。

(6) 日本医学会の依頼により「熱中症」等の用語について用語小委員会委員に意見を伺った(7月3日付、7月18日締切)。

(7) 若手産婦人科医による学術企画委員会が7月4日に開催され、テーマは「あなたはどのように働きますか?—新たな労働環境を求めて—」になった。担当校である久留米大学にお伝えした。

(8) 2008年第1回のICD-10+プラットフォームでのボーティング結果を厚労省より受領した。[資料:教育2]

以上教育報告事項については、特に異議なく了承した。

III. 理事会内委員会報告

1) 広報委員会(平松祐司委員長)

(1) 会議開催

①平成20年度第2回広報委員会・情報処理小委員会を9月12日に開催する予定である。

(2) JOB-NET 公募情報について [資料:広報1]

(3) m3.com 医療維新にJOB-NETに関するレポートが掲載された。 [資料:広報2]

(4) ACOG Website 会員専用ページログイン可能人数について [資料:広報3]

(5) ホームページアクセス状況について [資料:広報4]

(6) JSOG Newsletter "Reason for your choice"2号について

① Newsletter 25,000部を7月1日付で発行し、全国大学へ発送した。

② ACOG から写真提供を受けたため、礼状とNewsletterをACOGへ送付した。

(7) サマースクールを取材し、原稿を依頼する予定である。その記事を待つてHPを更新予定である。

以上広報委員会報告事項については、特に異議なく了承した。

2) 将来計画委員会(井上正樹委員長)

(1) ガイドライン委員会

①「産婦人科診療ガイドライン」頒布状況について

7月15日現在、入金済8,213冊、後払希望100冊。

②会員よりガイドラインと研修コーナーの内容が違っているとの指摘があった。 [資料:将来計画1]

以上将来計画委員会報告事項については、特に異議なく了承した。

3) 男女共同参画検討委員会(田中俊誠委員長)

(1) 地方部会担当公開講座について [資料:男女共同参画1]

以上男女共同参画検討委員会報告事項については、特に異議なく了承した。

IV. その他

- (1) 日経新聞6月27日付記事「女性がん対策遅れる日本」 [資料：その他 1]
- (2) 朝日新聞6月27日付記事「飛び込み出産に募る懸念」 [資料：その他 2]

以上